

**KENYA**   
**STUDENTS'**  
**EDUCATIONAL**  
**SCHOLARSHIP**  
run by Japan Overseas Cooperation Volunteers

# Kenya Students' Educational Scholarship (KESTES)

## 2018 年度年次報告書

- *KESTES Annual Report 2018* -





KESTES ケニア  
会長 黒田 篤槻

## ご挨拶

### 夢ある子供たちに、教育の機会を。

平素より KESTES(Kenya Students' Educational Scholarship)をご支援頂き誠にありがとうございます。

皆様の温かいご支援とご協力により、2018 年度も継続して 6 名の奨学生の支援を行うことができました。日頃のご高配に、改めて御礼申し上げます。

2018 年は、前年の選挙の影響を残しながらも、大きな騒乱が起こることなく過ぎた一年でした。幸い、KESTES の奨学生たちにも大きな事件はなく、無事にそれぞれの学年を終えることができました。また、2 名の奨学生が Form 4 (4 年生)までの支援を経て学校を卒業し、次のステップへと進むことができました。

1983 年、ケニアに派遣中の青年海外協力隊の有志によってスタートした KESTES も、お陰様で 35 年目を迎えました。今後も、私たちの活動が続けられる限り、子供たちへの支援を続けていく所存です。

今後も、皆様のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

KESTES 会長 黒田篤槻 (2017 年度 3 次隊)

## 目次

01.	ご挨拶	・・・	1
02.	KESTES とは	・・・	2
03.	奨学生支援～青年海外協力隊ならではの支援を目指して～	・・・	3
04.	2018 年度奨学生紹介	・・・	4
05.	活動実績	・・・	6
06.	活動実績 (日本窓口)	・・・	8
07.	運営体制	・・・	9
08.	収支報告 (2018 年度)	・・・	10
09.	ご支援いただいた皆様	・・・	11
10.	KESTES へのご支援のお願い	・・・	12

# KESTES とは

## Kenya Students' Educational Scholarship

「才能があるのに、がんばっているのに、お金がなくて学校へ行けない。」

そんな子供達を支援するための、青年海外協力隊在ケニア隊員有志による奨学金制度です。経済的な理由で学業の継続が困難な状況にある優秀なケニア人生徒に対し、セカンダリースクール(高校)就学のための学費を支援しています。

### 組織目標

ケニアでは成績人格共に優秀であり、次世代においてケニアの貴重な人材となる可能性を秘めた若者が、セカンダリースクールに通うための学費の支払いができないゆえに学業を途中で放棄するという状況が数多くみられます。そのような生徒たちを組織的・継続的に支援するために KESTES は以下のことを目的として活動しています。

### 「教育を通して生徒一人ひとりが夢を実現することを支え、ケニア社会のより良い発展に貢献する」

そのために以下のことに取り組んでいます。



#### 就学支援

家庭の事情により教育の機会に恵まれない子どものセカンダリースクール就学を支援し、子どもの夢や自己実現を支える



#### 人材育成

定期的な学校及び家庭訪問を通し、学習指導や生活面のサポートを行い、よりよい社会を作っていける優秀な人材の創出に寄与する



#### 国際交流

日本とケニアの交流や相互理解を促進し、お互いの良いところを学びあう



#### 広報活動

KESTES についての認知や理解の向上に努める



#### 組織運営

共通の目標に向かい、メンバー一人ひとりが、何ができるのかを考え行動し、組織の円滑な運営に努める



# 奨学生支援 ～青年海外協力隊ならではの支援を目指して～

## 採用プロセス

KESTES では、年間 7 名前後の奨学生を継続的に支援していくことを目標としています。応募に当たって、奨学生は、以下の応募資格を満たすこと、隊員による推薦を受けることが求められます。推薦に当たっては、推薦者は事前に面談、家庭訪問を行い、自信を持って推薦できる生徒かどうかを評価します。推薦された生徒は、定例総会の場にて KESTES による審査が行われ、奨学生として適当と認められた場合、採用されます。採用期間は採用された学期から年度末まで、継続する場合は再審査を受けます。

### 応募資格 2018 年 12 月時点

#### A) 進級する生徒の場合

- 推薦時に、ケニアのセカンダリースクールに所属する生徒であり、かつ直近タームの学校成績が学年で上位 20% 以内であるか、またはグレード C+ 以上である生徒。
- 但し、直近の The Kenya National Examinations Council 公式発表の上位 100 校に入るセカンダリースクールに所属する生徒であり、かつ直近タームの学校成績が学年で上位 50% 以内であれば、この限りでない。



#### B) 進学する生徒の場合

次年度 1 学期より、ケニアのセカンダリースクールへの進学を予定している者であり、プライマリースクール（小学校）8 年生での 3 学期の学校成績が学年で上位 20% 以内であるか、またはグレード C+ 以上、あるいは KCPE（Kenya Certificate of Primary Education）の点数が 300 点以上である者。



## 採用後の支援体制

採用後は採用月の学期から年度末までの学費、寮費、教材費、また必要に応じて制服代等が支給されます。KESTES の奨学金制度としての最大の特徴は、学費の支援のみを行うのではなく、各奨学生に担当者が付き Face to Face のコミュニケーションを取り、兄弟や友のような存在となり、交流を深めている点にあります。学業に集中し、よりよい成績が修められるよう、振り返りシートを用い、目標意識を持って学業に取り組むように支援しています。



## 2018 年度奨学生紹介 (6名)



### ケビン・マイナ・オティエノ / Orero Boys High School Form 4

義理の母親と孤児である義理の妹と暮らすケビンさん。静かで小さな青年で、自分についてあまり語ろうとしません。しかし、実は母親譲りのポジティブ思考で、ダンスやスポーツも好きだそう。今後は自己表現を積極的にし、将来の可能性を更に広げていけるよう応援していきます。

(支援期間：2015年1月～2018年12月)



### オニャンゴ・ジェミマ・アコス / Asumbi Girls High School Form 3

家庭の事情により、母方の祖父母に育てられてきましたが、通っていた小学校の校長先生より支援を受けながら、小学校生活8年間を通して毎日早朝から勉学に励み上位の成績を維持し続け、念願のAsumbiに入学しました。家族思いの心優しい女の子で、将来の夢はジャーナリストになり、祖父母を助けることです。

(支援期間：2016年1月～)



### サイラス・ムワニア・ムニャウ / Simisi Secondary School Form 4

4年前に父親を亡くし、祖母、母、6人の弟妹と暮らしています。家庭では、苦しい家計を助けようと農作業・炭焼き・水汲みを手伝い、幼い弟妹たちの面倒もみる優しいお兄ちゃん。学校では、貧しさから学費が払えず通学できない期間もありながら、入学以来B以上の成績をキープしている努力家です。

(支援期間：2016年9月～2018年12月)



### ケジア・ムトニ・ルグ / Naivasha Girls Secondary School Form 1

ケジアさんは、両親が蒸発し祖父母に預けられてしまったという家庭環境で育ちました。現在は、地域で一番の寮制の学校に通っています。入学した当初はなかなか慣れず、成績は低空飛行でしたが、1年生の最終学期には努力が実り、奨学金の継続条件を満たすことができました。今後は眼科医を目指しているので、より一層勉強に励んでいます。

(支援期間：2018年1月～)



**ケネデイ・キプケモイ・コスゲイ / Boito Boys High School Form 1**

小学生の時に両親が離婚し、病院の掃除婦として働く母親と弟と三人で暮らしています。母親に似てとても規律正しい青年で、学校の先生もその人格を高く評価しています。毎日の勉強の合間にするサッカーが大好きで、友人と楽しく学校生活を送れているようです。将来の夢は医者となり、コミュニティに貢献することです。

(支援期間：2018年4月～)



**エスター・ニャブワリ・オケムワ / Kereri Girls High School Form 1**

障害を持つ妹を抱え、将来は地域の人々を救える医者になりたいと、夢を語るエスターさん。プライマリー時代は学業と仕事を両立し、過酷な待遇を受けた経験もありましたが、そんな逆境も耐えうる忍耐強さと強い責任感を持つ女性です。成績も上位を維持し、今年度より進学校へ転入する事ができ、新しい学校生活を歩んでいます。

(支援期間：2018年9月～)

- ※1. 学年は2018年度のを記載。
- ※2. ケビンさんとサイラスさんに関しては、12月に無事卒業したため、2018年度末をもって支援終了。皆様のご支援のおかげです。ありがとうございます。

# 活動実績



## ● 定例総会

学校が休みの期間を利用して、定例総会を行っています。

### 2018年度第1回定例総会

開催日：2018年4月28日

開催場所：ボランティア連絡所

内容：会計報告、新規奨学生採用審査、  
現奨学生近況報告、その他

### 2018年度第2回定例総会

開催日：2018年8月25日

開催場所：ボランティア連絡所

内容：会計報告、新規奨学生採用審査、  
現奨学生近況報告、その他

### 2018年度第3回定例総会

開催日：2018年12月15日

開催場所：ボランティア連絡所

内容：会計報告、新規奨学生採用審査、  
現奨学生近況報告、  
来年度予算、その他



## ★ 総会の役割

定例総会は、全会員の過半数の参加をもって開催されます。  
奨学生をより効果的に支援するため、また会員の活動をスムーズにするため、毎回様々な議論が行われます。



# 活動実績

## ● イベント

### 守童（すわら）バザー

開催日：2018/1/27

開催場所：日本人学校

内容：広報活動

### チャリティーオークション

開催日：2018/4/28

開催場所：隊員ドミトリー

内容：帰国隊員寄付品の  
チャリティーオークション

### 日本人会婦人部お茶会

開催日：2018/5/22

開催場所：ナイロビ市内ホテル

内容：広報活動

### 日本人会懇親会

開催日：2018/5/27

開催場所：ナイロビ市内ホテル

内容：広報活動

### 日本人会ふれあい祭り

開催日：2018/9/15

開催場所：ナイロビ日本人学校

内容：広報活動

### チャリティーオークション

開催日：2018/11/9

開催場所：Olive Garden Hotel

内容：帰国隊員寄付品の  
チャリティーオークション



# 活動実績（日本窓口）

## ● イベント出展（グッズ販売・募金・広報活動）

<b>協力隊まつり</b> 2018年4月23日～24日 JICA 地球ひろば	<b>GEOマルシェ</b> 2018年4月30日 滋賀県長浜市	<b>万代アースフェスタ</b> 2018年5月3日 新潟県新潟市万代シティ
<b>東山動物園アフリカンフェスタ</b> 2018年5月4日～5日 名古屋東山動物園	<b>アフリカ蚤の市Vol.2</b> 2018年6月3日 Ryozan Park 巣鴨	<b>アフリカンフェスティバル</b> 2018年7月21日～22日 代々木公園
<b>アフリカビジネスラボVol.23</b> 2018年8月10日 Ryozan Park 巣鴨	<b>グローバルフェスタ2018</b> 2018年9月29日 お台場センタープロムナード	<b>よこはま国際フェスタ</b> 2018年10月6～8日 グランモール公園
<b>東山動物園アフリカンフェスタ</b> 2018年11月3～4日 名古屋市東山動物園		

## ● KESTES・アフリカビジネスラボ共催チャリティーセミナー

タイトル：日本人初のケニア政府公認サファリガイドが語るサファリガイドの仕事と野生動物の話

開催日：2018年4月24日（協力隊まつり2日目）

ケニア隊OVで元TVチャンピオン「サファリ王」の加藤直邦氏を講師に招きセミナーを実施。87名が参加し、新規のサポーター様にご登録いただく機会にもなりました。



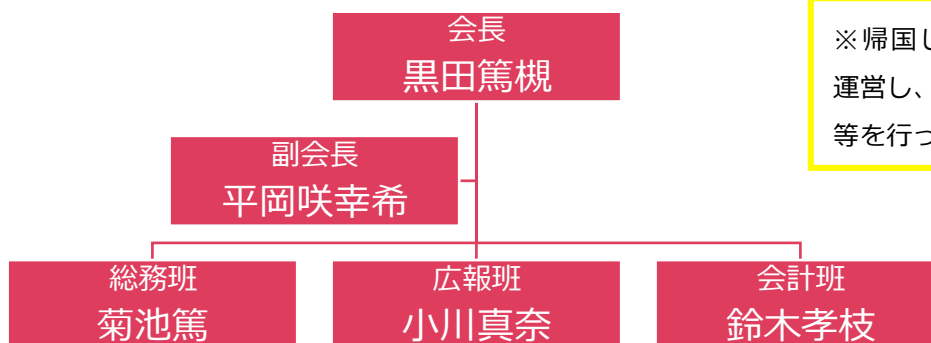


# 運営体制



\*2018年度12月現在

## 組織図



※帰国した委員が日本窓口を運営し、日本国内でも広報活動等を行っています。

### 前年度からの変更点

1. 規約の改定に伴い、委員長・副委員長の名称を、会長・副会長に変更しました。
2. 物販班を広報班に統合しました。今後、外部イベントへの参加は広報班が担当します。

## 各班事業内容

**会計班**：予算管理、資金管理、会計監査

**総務班**：制度運営、奨学生採用、奨学生支援

**広報班**：広報誌発行、HP・Facebook管理、個人情報管理、グッズ開発、イベント出店



# 収支報告 2018年度 (ケニア)

会計期間：2018年1月6日～2018年12月31日

換算レート：1USD=100Ksh、1JPY=1Ksh

参考レート：1USD=102Ksh、1JPY=0.94Ksh (2019年1月5日)

## 収入の部

単位：KES

科目	実績
1. 受取会費	
年会費	27,000.00
個人・企業サポーター登録費	99,000.00
2. 受取寄付金 (募金)	105,522.00
3. 日本窓口からの定期送金	0.00
4. 事業収益	
イベント収入	75,315.00
グッズ収入	555,960.00
5. その他収益	
利息・為替益・雑収入	10,360.00
<b>経常収益 (A)</b>	<b>873,157.00</b>

## 支出の部

単位：KES

科目	実績
1. 事業費	
奨学生学費	384,587.00
その他必要経費	267,511.00
2. 管理費	15,280.00
<b>経常費用 (B)</b>	<b>667,378.00</b>
<b>当期経常増減額 (A-B)</b>	<b>205,779.00</b>

単位:KES

前期繰越正味財産額	3,327,830.88
当期正味財産額(ケニア窓口)	205,779.00
当期正味財産額(日本窓口)	-169,566.00
次期繰り越し正味財産額	3,364,043.88

# ご支援いただいた皆様

\*2018 年度中に、新規登録または更新していただいたサポーター様を記載（以下、敬称略）。

## KESTES 個人サポーター（33 名）

ATETO ERIC OMONDI / 天目石慎二郎 / 石川美里 / 市川幸子 / 井上顕司 / 内田真治 / 大澤安則 /  
大塚繁樹 / 奥山朋治 / 加藤恒康 / 倉科芳朗 / 児玉晴夫 / 坂井義孝 / 佐藤安紀子 / 下辻美佐子 /  
白野倫徳 / 神保孝行 / 谷和弘満 / 中谷みさ代 / 中野朋儀 / 橋本栄治 / 長谷島 / 船越雄太 / 古田尚 /  
古谷大同 / 松村文雄 / 松本公夫 / 宮田靖志 / 宮森典子 / 山崎功祐 / 湯沢有紗 / 湯沢剛 / 脇田拓郎

## KESTES 企業サポーター（4 社）

Environmental Technology Africa Ltd.、EXCIA East Africa Ltd.、Magnolia Mining Limited.、  
三菱自動車工業株式会社

## KESTES 特別サポーター（1 名）

佐野景子

# KESTES へのご支援のお願い

KESTES は日本・ケニア国内の皆さまからのご寄付に支えられ、活動を展開しています。  
皆様からの温かいご支援とご協力、心よりお待ちしております。

## 1. KESTES 個人サポーター制度

KESTES の趣旨に賛同し、活動を支援してくださる方を募集しています。

1口 1,000Ksh (1,000円) とし、1口以上で登録できます。

## 2. KESTES 企業サポーター制度

KESTES の主旨に賛同し、活動を継続的にバックアップしてくださる

企業様・団体様を募集しています。

●ゴールドコース 10,000Ksh～ ●シルバーコース 3,000Ksh～

## 3. KESTES 特別サポーター制度

KESTES の趣旨に賛同し、特定の奨学生が1年間通学可能な学費を支援してくださる方や企業様を募集しています。

\*1年間の学費は、学校や学年毎に異なります。

## 募金方法

日本在住の方	ケニア在住の方
<ul style="list-style-type: none"><li>●銀行振込 KESTES ウェブサイト 振込先：ゆうちょ銀行 店番：〇一九 当座預金：0750111 口座名義：KESTES</li><li>●WEB 募金（クレジットカード決済） KESTES ウェブサイト 「WEB 募金」ページ参照</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●銀行振込 振込先：CBA (Commercial Bank of Africa) Yaya Centre Branch, Nairobi 口座番号：8058430038 (KSH)、 8058430043 (USD) 口座名義：TAKAE SUZUKI</li><li>●Mpesa 送金 *KESTES 専用番号 番号：0793-927660 名義：TAKAE SUZUKI</li></ul>





## Kenya Students' Educational Scholarship

### ●連絡先

 [kesteskenya@gmail.com](mailto:kesteskenya@gmail.com)

 <https://kesteskouhou.wixsite.com/kestes>

 <https://www.facebook.com/jocvkestes/>

 **KESTES** で検索! ⇨

